

大分大学「同窓生との合同交流会」in 福岡

～懐かしい恩師・友との再会～

大分大学では、平成17年から、大分大学の現状等について同窓生に報告するとともに、学部を越えた同窓会相互の交流推進を目的として「大分大学ホームカミングデー」を開催しており、今年も11月6日（日）に開催いたしました。

今年度からの新たな取り組みとして、各地区において「大分大学ホームカミングデー」のミニ版を開催することを決定し、平成28年度においては福岡地区で開催する運びとなり、平成28年11月19日（土）に福岡天神センタービルにあるTKPガーデンシティー天神にて「大分大学『同窓生との合同交流会』in 福岡」を開催いたしました。

合同交流会では、各学部・研究科等の同窓生が一堂に会し、初めに同窓会連合会役員及び本学役職者が紹介され、北野正剛学長の開会挨拶、秦政博同窓会連合会会長の挨拶が行われ、続いて大分大学と同窓生との情報の共有と一体感の醸成を図るため、各学部等の現状紹介が行われました。最後に、門田淳一研究・社会連携・国際担当理事からの挨拶があり、同窓会連合会に対して「大分大学と同窓生の方々との連携強化のパイプ役となっただいて、入学志願者の拡大や卒業生の就職・再就職支援などに力を注いで頂き、また、『持続的な競争力を持つ高い付加価値を生み出す大分大学への転換』や『在学生等への就学支援事業に対する個人からの寄付金など、社会全体からの支援による大分大学の財源の多様化と強化』にもご協力を賜りたいと考えております。」との思いと、更なる愛校心の醸成への期待が述べられました。

懇親会においては、古田佳代子桜樹会会長の開会挨拶があり、恩師として出席された野村健太郎名誉教授（元経済学部）の挨拶があった後、高倉健玉樹会会長の乾杯の音頭で始まり、恩師・同窓生が世代や出身学部等を越えた交流を行い、和やかなひと時を過ごしました。大分大学に対する意見・提言の場として設けられた懇親会会場には平成20年代卒業の若い世代の同窓生も散見されました。



合同交流会会場風景



懇親会会場での高倉健玉樹会会長の乾杯の音頭風景